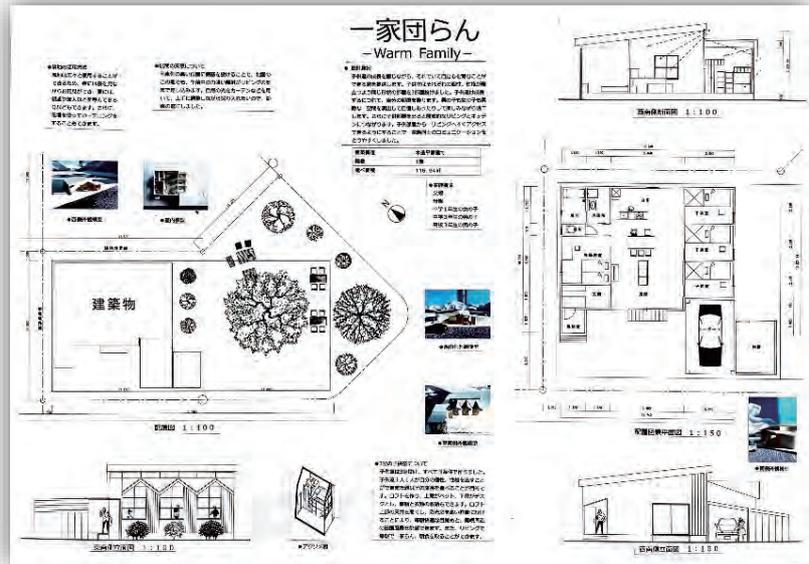


優秀作品賞



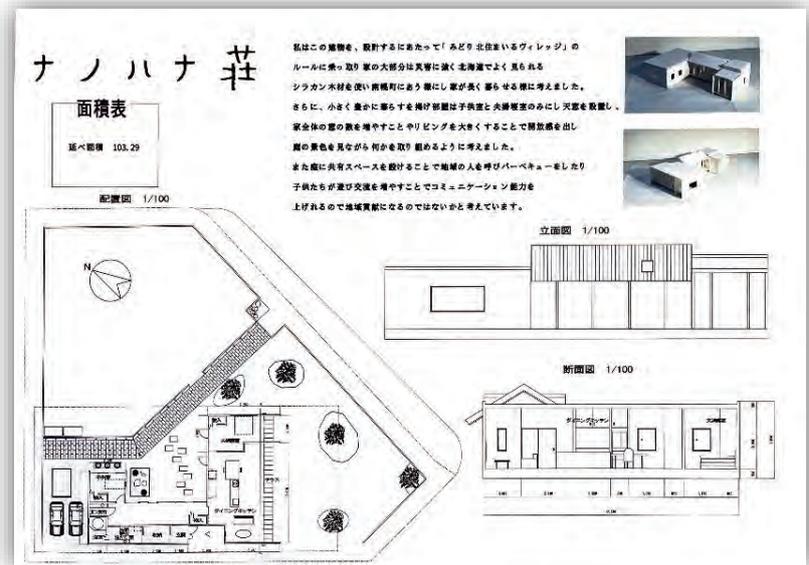
北海道名寄産業高等学校
川上 遥斗(3年)

作品名「一家団らん-Warm family-」

設計主旨 夫婦2人と子供3人で暮らしています。
この家は子供達の成長を感じながら、自立心をはぐむことができるという家を考えました。
子供室はそれぞれの個性、性格が際立つように3部屋同じ形状にしました。
男の子も女の子も素敵な空間を演出して自慢し合ったり楽しみながら過ごします。
また、大きなリビングでは一家団らんで食事やコミュニケーションを取ることでもできます。
一家団らんで暖かい生活ができる。そんな家を提供します。

審査講評 リビングに向けて3室並んだ子供部屋や、細かな配慮が多数あり、屋内外ともにまとまった提案である点が評価された。

佳作



北海道小樽未来創造高等学校
瀧野 伯哉(3年)

作品名「ナノハナ荘」

設計主旨 私はこの建物を設計するにあたって「きた住まいるヴィレッジ」のルールに乗っ取り、家の大部分は災害に強く北海道でよく見られるシラカンパ木材を使い、南幌町に合う様にし、家に長く暮らせるように考えました。
さらに、小さく豊かに暮らすを掲げ、部屋は子供室と夫婦寝室のみにし天窓を設置し、家全体の窓の数を増やすことやリビングを大きくすることで開放感を出し庭の景色を見ながら何かを取り組めるように考えました。
また、庭に共有スペースを設けることで地域の人を呼びバーベキューをしたり子供たちが遊び交流を増やすことで、コミュニケーション能力を上げることができるので、地域貢献になるのではないかと考えています。

審査講評 平面がユニークであり、若々しく独創的なデザインが評価された。
また、地域交流の視点もあり、縁側スペースと庭との関係が評価された。

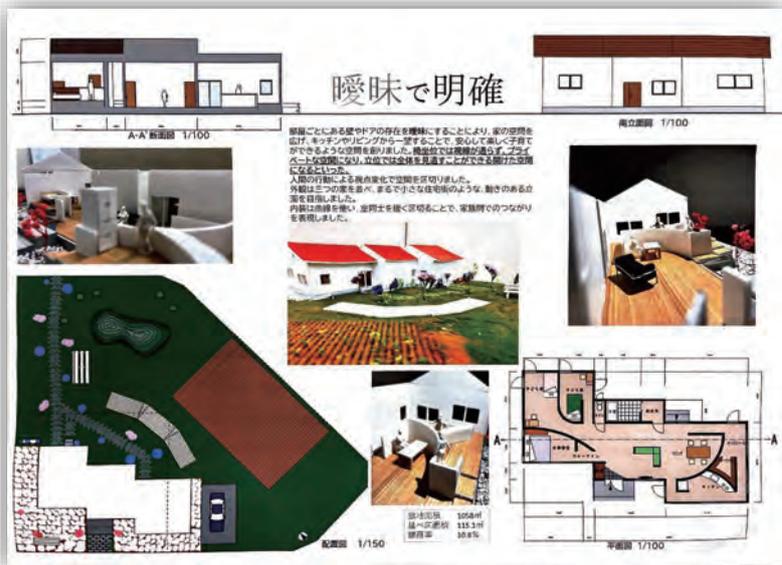


北海道苫小牧工業高等学校
葛西 真帆(3年)
小野寺 咲来(3年)

作品名「Living with Nature ~自然と共に暮らし~」

設計主旨 私達は、アウトドア好きの家族が「自然と共に暮らし、子育てを楽しみ、子供の成長を身近に感じることのできる家」を設計しました。家と外が緩やかにつながるように半外部であるピロティを設け、夏は日差しを遮り、雨の日も庭の風景を楽しめ、冬は壁に引き込んであるドアを開ければサンルームとして庭や自然と一体となって生活することができます。子供たちのびのび遊ぶことができます。室内は、壁を減らし大きなワンルーム化することで、キッチンやリビングなど家のどこにいても子供に目が届くような空間づくりを目指しました。また、家事室とウッドデッキをつなげることで、晴れの日は直接外に、雨の日は家事室に洗濯物を干すことができます。家事室内に家族それぞれのカゴを用意し取り込んだ洗濯物を入れておくことで、子供たちは部屋へ服を持っていくお手伝いができるようになっています。さらにこのウッドデッキは、お母さんのプライベートスペース、子育ての疲れを癒やす空間にもなります。室内には遊び場として、滑り台、ボールプール、落書き黒板、本棚、玩具などを設置した子供のプライベート空間をつくり、冬でも室内で元気に遊べます。室内・半外部・外部が一つの大きな空間として、四季を感じながら、楽しく子育てができ、親子の成長に優しく寄り添ってくれる新しい北方型の住宅です。

審査講評 各所に楽しさと想いがあふれるコンセプトがあり、内外のつながりもいたるところに計画されている点が評価された。



北海道帯広工業高等学校
伊賀 翔(3年)
伊藤 一心(3年)
山本 龍正(3年)

作品名「曖昧で明確」

設計主旨 部屋ごとにある壁やドアの存在を曖昧にすることにより、家の空間を広げ、キッチンやリビングから一望することで、安心して楽しく子育てができるような空間を創りました。椅坐位では視線が通らず、プライベートな空間になり、立位では全体を見渡すことができる開けた空間になるといった、人間の行動による視点変化で空間を区切りました。外観は三つの家を並べ、まるで小さな住宅街のような、動きのある立面を目指しました。内装は曲線を使い、室同士を緩く区切ることで、家族間でのつながりを表現しました。

審査講評 雁行形の配置やドアや間仕切りを使わない平面、視点の高さと空間変化の提案が面白く、バランスが良い点が評価された。

佳作

北海道苫小牧工業高等学校
中地 琉生(3年)
中村 涼太(3年)

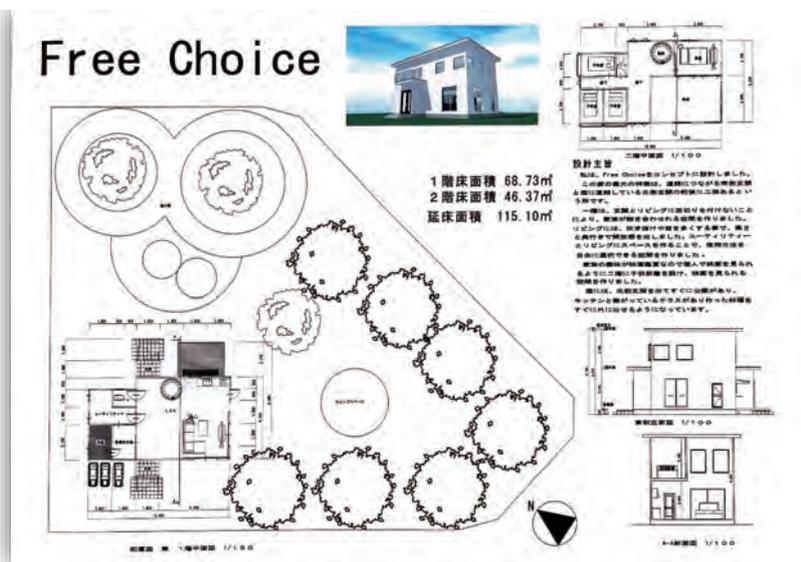


作品名「光の家」

- ◎ 設計主旨 家を貫くような光庭を設け、この空間を介して家族のコミュニケーションがとれる住宅を考えました。この光庭は、ガラス張りで天井がなく光や風、雨も入ってきますが、窓を開け放つと開放的で自然の中にあるようで、1階のリビングから2階の子供室へ声も届きます。親も安心して子供を遊ばせておくことができるので、家事の時間も減らせそうです！
- ◎ 審査講評 屋内にスリット状の光庭を取り込んだ大胆な提案やキレイなデザインが評価された。

特別賞

北海道小樽未来創造高等学校
大光 明音(3年)



作品名「Free Choice」

- ◎ 設計主旨 私は、Free Choiceをコンセプトに設計しました。この家の最大の特徴は、道路に繋がる南側玄関と庭に直結している北側玄関の前後に二個あるという所です。一階は、玄関とリビングに区切りをつけないことにより、家族が顔を合わせられる空間を作りました。リビングには、吹き抜けや窓を多くすることで、高さや奥行きで開放感を出しました。ユーティリティとリビングにスペースを作ることで、使用方法を自由に選択できる空間を作りました。家族の趣味が、映画鑑賞なので個人で映画を見られるように、二階に子供部屋を設け、映画を見られる空間を創りました。庭には、北側玄関を出てすぐに公園があり、キッチンと繋がっているテラスがあり、キッチンで作った料理をすぐに外に出せるようになっています。
- ◎ 審査講評 2つの玄関を設置するという独創的な提案で、地域と個人の庭をつなげようとする意図と方位を意識したプランが評価された。



北海道帯広工業高等学校
岩橋 七美(3年)

作品名「遊縁地〜こども目線で作る家〜」

- ⑤ 設計主旨 子どもも大人も楽しく暮らせるような家にするため、一つ一つの部屋や空間を広くし、大人にとっては家事のしやすさと子どもを常に見守れるようにできるだけ仕切りを少なくしました。
大きなウッドデッキのバルコニーと、長いスロープを作ることによって、「室と室」、「内と外」の中間領域で、自由に走り回れるような遊び場のように活用できるようにしました。
- ⑥ 審査講評 外周にぐるりと廻ったスロープを内部空間に配したプランやユニークなテラスが評価された。

令和5年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

—北海道札幌工業高等学校—

- 阿部 昂太 [3年]
- 荒谷 海斗 [3年]
- 郡 玄德 [3年]
- 高宮 空雅 [3年]
- 菊池 陽生 [3年]
- 嶋野 将平 [3年]
- 遠田 瑞樹 [3年]
- 三宅 祥梧 [3年]
- 元岡 樹玖 [3年]
- 箭内 心音 [3年]

—北海道小樽未来創造高等学校—

- 石塚 湊 [3年]
- 上野 大樹 [3年]
- 大久保 成寿 [3年]
- 尾崎 利允 [3年]
- 尾山 菜渚 [3年]
- 小林 優和 [3年]
- 佐藤 結愛 [3年]
- 佐藤 優来 [3年]
- 志村 涉 [3年]
- 白川 虹波 [3年]
- 大光 明音 [3年]
- 高田 柚希 [3年]
- 高橋 龍水 [3年]
- 高橋 陸 [3年]
- 瀧野 伯哉 [3年]
- 津川 楓 [3年]
- 豊島 杏奈 [3年]
- 野沢 優真 [3年]
- 野宮 祐太郎 [3年]
- 橋本 翼 [3年]

—北海道苫小牧工業高等学校—

- 中島 太陽 [3年]
- (以下、2名グループ)
- 葛西 真帆 [3年]
- 小野寺 咲来 [3年]
- 白取 夢来 [3年]
- 藤原 菜々子 [3年]
- 小山内 慎之助 [3年]
- 遠藤 龍樹 [3年]
- 外山 礼己 [3年]
- 土谷 晴斗 [3年]
- 中地 琉生 [3年]
- 中村 涼太 [3年]
- 長谷 賢伸 [3年]
- 長谷川 大輝 [3年]
- 工藤 康太 [3年]
- 伊東 洸明 [3年]
- 工藤 陸斗 [3年]
- 橋本 羽琉 [3年]
- 千葉 美結 [3年]
- 藤田 結大 [3年]
- 萩原 煌太 [3年]
- 武田 史弥 [3年]
- 深尾 洸太 [3年]

—北海道名寄産業高等学校—

- 川上 遥斗 [3年]
- (以下、2名グループ)
- 北田 秀明 [3年]
- 橋本 陽南太 [3年]
- 北海道帯広工業高等学校—
- 入口 夏礼文 [3年]
- 岩橋 七美 [3年]
- (以下、3名グループ)
- 伊賀 翔 [3年]
- 伊藤 一心 [3年]
- 山本 龍正 [3年]
- 田之上 夏姫 [3年]
- 藤原 琉伎 [3年]



<共催>

北海道

公益社団法人日本建築家協会北海道支部

一般社団法人北海道建築士事務所協会

一般社団法人北海道建築士会

<北海道建設部建築局ホームページ>

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

令和6年2月